

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要				
事業開始年度		平成17年度		
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	01	未来を支える人材を育むまちづくり
	小項目	施策	01	幼稚園
事務事業名		07	幼保連携事業	
				このシート作成に要した時間 1.0 時間

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	幼稚園・保育園の幼児 幼稚園・保育園の職員
目的 (何のために)	教育・保育内容を相互に理解する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	幼保の連携事業を実施することで、幼児教育・保育内容の共通理解を図る。

事業の実績			
	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	幼保連携活動支援事業	幼稚園と保育園が隣接する2園に幼児や教員同士の交流を実施し幼保の連携を推進する(平成21年度より全幼稚園や保育園で推進することが必要であるので、幼稚園研修事業に補助金を統合)	

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		30	0	0	
	必要人員人件費	千円	0.03人	336	0.03人	263
	事業費計		366	263	78	
	国県支出金					
財源	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他					
	一般財源		366	263	78	
受益者負担率	%	-	-	-		
結果指標名						
結果指標	結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
	幼保交流実施園数		説明	幼稚園と保育園の交流を実施している園数		
	結果指標量	園		8	8	8
	対前年比	%		-	100.0%	100.0%
活動コスト		千円	366,000	263,000	78,000	
単位当たりコスト		円	45,750	32,875	9,750	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標を評価

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)				
		実績値(B)				
幼保交流実施園率		1	1	1	1	
		0.89	0.89	1.00	到達目標値	
	達成率(B/A)	89.00%	89.00%	100.00%	毎年	

成果指標設定の考え方・式や説明

幼保交流実施園 / 8園 (伊里認定こども園を除く)

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
	市民ニーズ		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	幼稚園と保育園が隣接している地域のみが対象であったが、全地域を対象として実施し、幼保の連携を図っていく。 また、保幼小連携を意識した取り組みとしての小学校への円滑な接続のための仕組み作りを検討していく。					

総合評価	5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E>	B	
幼保連携一体施設整備を進めている現状から、連携活動を深め教育、保育内容について共通理解し、カリキュラムの作成や具体的な運用を研究していくことが必要である。				

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	今後とも、幼保連携一体施設整備を進めている現状から、連携活動を深め教育、保育内容について共通理解し、カリキュラムの作成や具体的な運用を研究し実践していく。 また、保幼小連携を意識した取り組みとしての小学校への円滑な接続としての取り組みを支援していく。					